



第4回

さきたま史跡の博物館

さきたま史跡の博物館

埼玉県名発祥の地、「行田市埼玉」に国指定特別史跡「埼玉古墳群」があります。ここでは、延喜式内社前玉神社のほか、1590（天正18）年の石田三成による忍城水攻めの遺構である石田堤、忍藩主松平家の菩提寺天祥寺などがあり、豊かな歴史遺産に恵まれています。特別史跡埼玉古墳群は、5世紀後半から7世紀中頃に造られた9基の大型古墳群で、東日本最大の古墳群として、今年3月に県内で初めて国の特別史跡に指定されました。この地域約30ヘクタールが「さきたま風土記の丘」として整備されています。

さきたま史跡の博物館は、特別史跡「埼玉古墳群」および国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」をはじめとする貴重な文化財を将来に亘って保存、管理し、その活用を図ることを目的に設置・運営されています。

国宝 金錯銘鉄剣・稲荷山古墳

この埼玉古墳群の名を全国に知らしめたのは、1968（昭和43）年に稲荷山古墳から出土した一振り鉄剣でした。鉄剣の保存処理を進めている過程で、この鉄剣に115文字の漢字が金象嵌で施されていることが判明。鉄剣の製作は、「辛亥」の紀年銘から471年と推定されており、メディアでは「百年に一度の考古学的発見」と一大センセーションを巻き起こしました。この「金錯銘鉄剣」は、稲荷山古墳から一緒に出土した鏡、装身具などとともに1983（昭和58）年、国宝に指定されました。

わが国最大級の円墳・丸墓山古墳

埼玉古墳群の中に、わが国最大級の円墳である「丸墓山古墳」があります。埼玉古墳群の中では唯一の大型円墳で、直径105メートル、高さ17.2メートル、墳丘上にあった埴輪等から6世紀前半に造られたと考えられています。

この丸墓山古墳は、戦国末期豊臣秀吉の忍城攻めの際、石田三成が本陣を張ったところで、1590（天正18）年に石田三成は、忍城を水攻めにするため、忍城の周囲に全長28キロメートルにおよぶ土手を築きました。周辺には、この時の築堤跡（石田堤）が残っています。忍城は、上杉謙信に攻められたときにも落ちず、豊臣軍の水攻めにも耐え、不落の名城として名を馳せました。

将軍山古墳展示館

将軍山古墳は、6世紀後半に造られ、埼玉古墳群のなかで4番目に大きい前方後円墳です。後円部の中央には、遺体と副葬品が納められていた「横穴式石室」がありました。





稲荷山古墳から出土した
国宝「金錯銘鉄剣」



埼玉県名発祥之碑



全国で初めて古墳内部を見学できる「将軍山古墳展示館」

まが玉づくり体験は当日先着 20 名で
1 日 2 回開催 (費用別途)



遺構や遺物を保存活用するため、墳丘と堀を復元するとともに、横穴式石室を実物大で復元し、全国で初めて古墳内部を見学できる展示館として 1997 (平成 9) 年にオープンしました。

埼玉の地名発祥の地、^{さきたま}前玉

さきたま史跡の博物館の近くに「埼玉県名発祥之碑」があります。さきたま風土記の丘周辺は、古くは「^{さきたま}前玉」といって、埼玉という地名はここから生まれました。今でもこの辺りの地名は、大字^{さきたま}埼玉となっています。前玉神社の社前に万葉集の歌が刻まれており、この万葉集歌碑は、1698 (元禄 11) 年のもので全国最古級の文学碑として貴重なものです。

まが玉づくり体験

館内には「まが玉づくり」を体験できるコーナーがあります。白色、ピンク色、黒色の滑石を紙ヤスリで磨いて、オリジナルのまが玉を作ることができます。この体験で作成するまが玉は、稲荷山古墳から出土した国宝に指定されている「まが玉」と同じ大きさの当館オリジナルのグッズです。

埼玉県立さきたま史跡の博物館

〒361-0025 行田市埼玉 4834

TEL : 048-559-1111 (代表)

E-mail : k591111@pref.saitama.lg.jp

開館時間 : 午前 9 時 ~ 午後 4 時 30 分 (入館は午後 4 時まで)

休館日 : 月曜日 (祝日、振替休日、県民の日を除く)、
12 月 29 日 ~ 1 月 3 日

観覧料 : 一般 200 円、高校生・学生 100 円

※開館状況は、さきたま史跡の博物館ホームページに
随時反映していますので、ご確認のうえ来館ください。

<https://sakitama-muse.spec.ed.jp/>

